

Tsuyama College		Year	2017		Course Title	英語Ⅲ
Course Information						
Course Code		0022		Course Category	General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department		Department of Mechanical Engineering		Student Grade	3rd	
Term		Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書：Technical English: Intermediate to Advanced（電気書院） Bridge Test(Shohakusha) 参考書：辞書（電子辞書可） ハンドアウト（A4,A3サイズのプリント）を閉じるためのフォルダーも必要。Intermediate Course for the TOEIC				
Instructor		YAMAGUCHI Hitoshi				
Course Objectives						
学習目的：実社会で使われているような英文ビジネスメールを読んだり聞いたりして理解することができるようになる。ビジネストピックについて英語でビジネスメールを書くことができるようになる。						
到達目標： 1.相手と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、初歩的な英語運用能力を養う。 2.技術英語やビジネスメールのための語彙，表現を使うことができる。 3.技術英語やビジネスメールの文法や文章スタイルを理解する。 4.2を使って，メールを作成することができる。 5.ビジネスや技術に関する情報を英語で聞いて理解することができる。 ◎日本語と特定の外国語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え、円滑なコミュニケーションを図ることができる。						
Rubric						
	優		良		可	
評価項目1		ビジネスメールを読んで理解することができる。		シンプルなビジネスメールを，辞書などを使って理解することができる。		シンプルなビジネスメールを，辞書などを使って，概ね理解することができる。
評価項目2		ビジネスメールを英文で作成することができる。		シンプルなビジネスメールを，辞書や与えられたフォーマットを使って，英文で作成することができる。		シンプルなビジネスメールを，辞書や与えられたフォーマットを使って，英文で概ね作成することができる。
評価項目3		英語での活動に積極的に参加し，英語を用いて十分なコミュニケーションを図ることができる。		英語での活動に参加し，英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。		英語での活動に参加し，コミュニケーションを図ることができる。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語 必修・履修・履修選択・選択の別：必修 基礎となる学問分野：英語学・言語学・英米/英語圏文学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（5）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育目標は「（F）コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成」である。 授業の概要：本授業は話す，聞く，読む，書く能力を育成するための四技能コースである。特にビジネスメールを読む練習や書く練習を行う。				
Style		授業の方法：技術英語を読む，聞く，書く活動を中心に行う。また，TOEIC Bridge問題を解いて解答解説を行う。 成績評価方法：前期中間試験から後期中間試験までは，定期試験の結果を平均して評価する（50％）。定期試験の結果に加え，平常の課題・自己評価など（50％）を総合して成績評価をおこなう。年度末の成績評価は，後期末試験まで加え，上記の方法で算出された結果を90％に換算し，TOEIC Bridge Testの結果を10％加えて評価する。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。				
Notice		履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。 履修のアドバイス：授業のための予習復習をするとともに，できるだけ多くの語彙を覚えること。授業には必ず辞書を持参授業のための予習復習をするとともに，できるだけ多くの語彙を覚えること。授業には必ず辞書を持参すること（電子辞書も可）。すること（電子辞書も可）。 基礎科目：英語I（1年），英語演習I（1年），英語II（2年），英語演習II（2年） 関連科目：英語IV（4年），選択英語I（4年），英語V（5年），選択英語II（5年） 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。講義ならびに音読や英作文の活動は，運用能力向上のための基礎となる。そのため，必ず，毎回、教科書・フォルダー・辞典（英和・和英、または電子辞書）を持参し，予習や復習、課題に取り組んだうえで授業に臨み，理解を深めてほしい。後期中間試験後(予定)に実施されるTOEIC Bridge Testを必ず受験すること。また課ごとのリスニング課題だけでなく，音声教材を活用してリスニング力の向上に努めてほしい。 遅刻について：授業開始5分すぎでの入室は欠課扱いとする。				
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	前期ガイダンス		1年間の学習方法について理解し、学習計画の見通しを立てられる	
		2nd	技術英語Unit 1		Request InformationのE-mailについて理解できる	

		3rd	技術英語Unit 1	Request InformationのE-mailに関わる英文を書くことができる
		4th	TOEIC Chapter 1	TOEICのActivitiesのやり方がわかる
		5th	技術英語Unit 2	Set up a MeetingのE-mailについて理解できる
		6th	技術英語Unit 2	Set up a MeetingのE-mailに関わる英文を書くことができる
		7th	TOEIC Chapter 2	TOEICのActivitiesのやり方に慣れる
		8th	前期中間試験	学習内容の習熟度が確認できる
	2nd Quarter	9th	前期中間試験の答案返却と試験解説, TOEIC Chapter 3	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる
		10th	技術英語Unit 3	Make a RecommendationのE-mailについて理解できる
		11th	技術英語Unit 3	Make a RecommendationのE-mailに関わる英文を書くことができる
		12th	TOEIC Chapter 4	Dining Outの話題についての問題が解ける
		13th	TOEIC Chapter 5	Entertainmentの話題についての問題が解ける
		14th	まとめと期末試験対策	学習した内容を振り返り、対策を立てることができる
		15th	後期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
		16th	後期末試験の答案返却と試験解説, TOEIC Chapter 6 夏季課題 TOEIC Chapters 7~9 (詳細は別途指示, 変更の可能性ある)	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる
2nd Semester	3rd Quarter	1st	TOEIC 夏課題の解答解説	夏課題の学習を振り返り、理解の確認ができる
		2nd	技術英語Unit 5	Report on a CompanyのE-mailについて理解できる
		3rd	技術英語Unit 5	Report on a CompanyのE-mailに関わる英文を書くことができる
		4th	TOEIC Chapter 10	At Workの話題についての基礎的な問題が解ける
		5th	TOEIC Chapter 11	At Workの話題についての発展的な問題が解ける
		6th	TOEIC Chapter 12	Travelの話題についての問題が解ける
		7th	まとめと中間試験対策	学習した内容を振り返り、対策を立てることができる
		8th	後期中間試験	学習内容の習熟度が確認できる
	4th Quarter	9th	後期中間試験の答案返却と試験解説, 技術英語 Unit 7	テストを振り返り、課題を見つけ、今後の学習計画の見通しが立てられる
		10th	技術英語 Unit 7	Apply for an InternshipのE-mailについて理解できる
		11th	技術英語 Unit 7	Apply for an InternshipのE-mailに関わる英文を書くことができる
		12th	技術英語 Unit 8	Apply to Study AbroadのE-mailについて理解できる
		13th	技術英語Unit 8	Apply to study AbroadのE-mailに関わる英文を書くことができる
		14th	まとめと期末試験対策	学習した内容を振り返り、対策を立てることができる
		15th	後期末試験	学習内容の習熟度が確認できる
		16th	後期末試験の答案返却と試験解説 冬季課題 TOEIC Chapters 13~15 (詳細は別途指示, 変更の可能性ある)	テストを振り返り、課題を見つけ、次年度の学習計画の見通しが立てられる

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	自己評価	課題	Total
Subtotal	50	10	40	100
基礎的能力	50	10	40	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0